

青いとり保育園「不当解雇」事件裁判って？

「わたしのことが嫌いになったし先生たちは、いなくなってしまうわはったんか？」…なんて言葉を二度とこどもたちに言わせたくない！

40年以上にわたり、こどもたちを育み、保護者の信頼を得てきた京都市立病院の院内保育所「青いとり保育園」が7年前に企業委託されました。その時には委託契約の条件だった「職員の雇用継続」を、3年前の2回目の公募では、京都市と市立病院は、契約の条件としませんでした。そのために保育士を含む職員が「全員不当解雇」されてしまいました。なぜ働き続けられなかったのか、こどもたちとの絆を理不尽にも断ち切られた責任はどこにあるのか、こどもの保育を守りたいという保育士の期待を侵害したと提訴・控訴し、自分たちに責任はないという京都市・市立病院と裁判で争ってきました。残念ながら、地裁・高裁ともに棄却されましたが、こども達の未来を守るために、私たちは、最高裁に上告し、正義ある判決を求めて引き続きたたかっています。みなさんの大きなご支援よろしくおねがいします！

〒6028143 京都市上京区堀川通丸太町下ル京都社会福祉会館内
福祉保育労京都地本・京都医労連
連絡先：075-813-4800

なぜ京都市と市立病院は保育士を「全員解雇」したのですか？

1977年に京都市立病院の看護師が働き続けられるような保育園が欲しいと、地域や労働組合などの支援の中で青いとり保育園が誕生しました。以来、40年以上、京都でも質の高い保育という評価をいただける保育園としてこどもたちと保護者を支えてきました。ところが、病院が保育園の運営を民間に委託したことにより、結果として保育士など職員が「全員解雇」されてしまいました。

委託先が変わるたびに、保育士が全員入れ替わることを許すならば、こどもたちや保護者、保育士などの職員に重大な不利益を及ぼすことを正当化することになりかねません。

「安ければいい」と安易な業務委託がすべての職場に広がっています。その先頭に自治体が立っているのでしょうか？自治体がワーキングプアを拡大している問題は、NHKクローズアップ現代でも取り上げられました（2016年2月22日放送「広がる労働崩壊・公共サービスの担い手に何が」）。

市民の安心と安全を守るこそ自治体の役割です。京都市と市立病院にその責任があることを明らかにしようと、私たちは裁判に取り組んでいます。

多くの皆さんのご支援をお願いいたします！

NHKクローズアップ現代
で青いとり保育園が取り上げられました

～わたしたちが大切にしたい保育園は、こどもが現在をよく生き、未来を創りだす力の基礎を培うところ～

青いとり保育園では、委託期間終了にともない、2019年4月からあらたな事業者へ委託されます。来年度の募集要項・仕様書が発表されました。



「これ以上先生達が入れ替わるようなことはやめてほしい！」と保護者が声をあげて頑張ったこともあり、4年前の要綱と比べるといくつか変更されたところがありました。

★運営経費提案価格に上限だけでなく、下限が設けられました！
→上限価格は9540万円、下限価格は6360万円
・前回の委託上限価格は、9650万円！！90万円も下がっています！より良い保育をするためには、少なくとも引き下げることなく、引き上げが必要です。「子育て環境日本一」の京都市が認可する事業所内保育なら、当然ではないでしょうか？

★契約期間はやっぱり4年??

→こどもたちは6年間保育園に在籍します。入園から卒園までの間に、職員が全員入れ替わるかもしれない…なんて、ありえません。はぐくみ局内の学童保育・児童館の指定管理者制度は5年の契約期間です。なぜ、青いとり保育園の委託は4年なのでしょう？

保護者も、契約期間をのばしてほしいとお願いしていたのに…

募集要項・仕様書を見た方から、こんな声もでています…



★給食・食育計画についての審査基準が前回より上乘せされました…けど、一方で

調理師は前回3人配置だったのに、今回2人にマイナス！！
→乳児が多い分、一人ひとりの成長段階に応じた、きめ細やかな離乳食対応も求められるはずです…。60人定員の認可保育園なら調理師配置は3人です。

★同一事業者には優遇？職員の雇用継続は？

同一事業者の場合には「点数が加算」。選定前から次の事業者はアートでお願いしようと思っているのでは？

同一事業者に加算する理由は、保育士や職員が大幅に変わるのには好ましくない、からですよ。だとしたら、「職員の雇用継続」とちゃんと明記したほうがよいのでは？